

長岡市廃棄物減量等推進審議会委員の江口耕三さんに古紙回収についてお聞きしました。

江口さんは、市が古紙回収を委託している江口佐五七商店の専務でもあります。

「私もでも回収した古紙類は、最初に、ビールひもをはじめとする不適物を手作業で取り除きます。その後、種類ごとに圧縮こん包し、リサイクルするため、主に国内の製紙会社に納めます。紙製容器包装は、全て「雑誌・チラシ」に分別できるわけではありません。リサイクルするために分別回収しているのですから、分別に迷ったときは、古紙類に混ぜないでください。紙が加工してあるかどうかを見分けるには、紙が水に溶けることを利用します。紙を少しちぎって、お湯に浸けてみます。しばらくして、浸した紙が溶けるようなら、古紙回収の日に出せる紙といつことになります。」

ベルトコンベヤーで運ばれています。



ビニールひも等を手作業で取り除きます。

江口佐五七商店



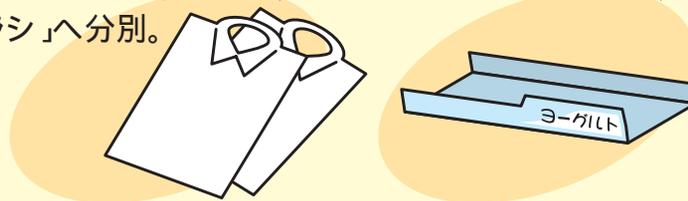
圧縮こん包されて出てきた古紙。

今からできる紙の分別

例えば、窓付き封筒やティッシュの箱は、ビニール・セロハンを取り除いて、「雑誌・チラシ」へ分別。



ワイシャツの中の台紙、ヨーグルト・プリン台紙は、「雑誌・チラシ」へ分別。



寿・鳥越事業所からのお願い

処理施設への持ち込みごみも、

正しく分別しましょう

家庭ごみはステーション収集が原則です。

急な引越しや大掃除などで大量にごみが出た場合に限り、処理施設への直接持ち込みを受入れていきます。ごみと資源物は、計画的にごみステーションに出していただくようお願いいたします。持ち込めるごみは、環境衛生センターの寿事業所では、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「粗大ごみ」です。分別の種類ごとに分けて持ち込みしてください。

ごみ収集車の中で火災が発生!

原因は、収集車の中でライターやスプレー缶などが押しつぶされ、ガスが噴出し、ごみの摩擦熱により引火し火災になったと思われます。ライターは使い切って「燃やさないごみ」、卓上コンロ用ガスボンベ、スプレー缶は、使い切って、火の気のない屋外で穴を開けてから「びん・缶・ペットボトル」の日に出してください。



カセットボンベやスプレー缶が出てきました



生ごみは絞ってね

スイカやメロンの皮等水分を多く含んだ生ごみは、絞ったり新聞紙の上で乾かすなど水分を十分取ってからごみステーションに出してください。

生ごみの減量とたい肥化に

取り組みましょう!

市は、指定店で購入した電動生ごみ処理機、たい肥化容器(コンポスト容器)、EMボカシ容器、たい肥枠等)の購入を補助しています。補助率は、購入金額の2分の1で電動生ごみ処理機は3万円、たい肥化容器は3千円が限度です。平成14年度補助実績は、電動生ごみ処理機187台、たい肥化容器65台です。どちらの機器を購入されてもごみが良質なたい肥に生まれ変わります。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。環境にやさしい植物性インクを使用しています。